

公表

保育所等訪問支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
bonキッズ谷町		2025年 12月 19日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	6 (100%)	0 (0%)	利用者に合わせて報告書を作成している。/本人にとって必要なコミュニケーションや対人理解グッズ等（スケジュール、手順書、コミュニケーションブック、ソーシャルストーリーズTM等）の使い方、活用することの必要性を理解し、実施してもらうためのもの。本人にとってわかりやすい教材や使いやすい道具を持参し、紹介する。		
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4 (66.7%)	2 (33.3%)	希望者には対応できる体制が取れている。/利用希望者が多く、タイムリーに行けないこともある。	配置基準は満たしているが、第一希望通りに実施できないこともあるため職員確保に努めます。	
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6 (100%)	0 (0%)	会議で情報を共有している。/訪問の時間帯の枠を計画的に作っていく。訪問先との調整が難しいのが課題である。		
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6 (100%)	0 (0%)	保護者からの希望について個別に聞き対応している。/タイムリーに保護者の要望、意向を受け止められるようにやり取りを密にしている。		
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6 (100%)	0 (0%)	会議で情報を共有し、意見出しあっている。/訪問の報告をする中で、意見交流をするようにしている。共有する時間を取るの工夫がさらに必要。		
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0 (0%)	6 (100%)	特に積極的には行ってないと思われる。/外部評価の設定し、より質の向上が図れるようにする。		
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6 (100%)	0 (0%)	多くの研修があり、希望する研修を受ける事ができている。/自主的に必要な研修は受講したり、学会等で実践を発表する機会を持ったりしている。		
	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5 (83.3%)	1 (16.7%)	どちらともいえない 全員にアセスメントが取り切れていない。/定期的に必要に応じて、トータルにアセスメントし、保護者や関係機関と共有するようにしている。		
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6 (100%)	0 (0%)	直接支援の職員の意見を聞いて作成されている。/担当者が児発管に相談し、具体的に計画案を作成して保護者と共有する中で、最終決定するようにしている。		
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6 (100%)	0 (0%)	利用者の状況に応じて連携し作成している。/担当者とのやり取りの中で、具体的な相談を受けるようにしている。		
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6 (100%)	0 (0%)	療育担当との話し合い、療育場面を見学する時間を設けるようにしている。		
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5 (83.3%)	1 (16.7%)	どちらともいえない 全員には確認できていない。/毎回訪問時の行動観察からのインフォーマルアセスメントを報告書や動画を通して保護者、担当者と共に共有し、支援を組み立てるようにしている。	療育開始や必要時に、評価キットB1・B2等(独自のアセスメントツール)を実施しています。課題としてはフォーマルアセスメントに関しては、必要に応じて実施することを心掛けているが、一定時間を要するため、枠組みに苦労している点が挙げられます。	

適切な支援の提供	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6 (100%)	0 (0%)	本人への支援： 安心して穏やかに集団生活が送れるように、自己肯定感をもって、自己発揮できるように個々に必要な支援（特に表出、理解コミュニケーション、対人関係の工夫等）を提供する。本人の困り感を受けとめ、対応する。 訪問先への支援： 担当者へのエンパワメント、環境の整備、総合的な支援体制、地域連携を軸に具体的なアドバイスや情報提供を行う。（具体的には、特性理解、日々の見通し→行事での見通しや参加の仕方、本人とのやり取り等） 保護者との連携 家族の意向を尊重し、情報共有や相談対応を行うとともに、学校地域と連携して適切な支援に繋げる。→定期的な関係者会議の実施	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6 (100%)	0 (0%)	タイムリーに支援状況を伝達し、必要に応じて、療育での協力もお願いする。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6 (100%)	0 (0%)	毎日朝礼や昼礼で職員間で確認している。/事前に見学などの目標や、具体的な内容に関して視覚的に確認、伝達するようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5 (83.3%)	1 (16.7%)	毎日朝礼、昼礼を行い情報を共有している。/当日実施することを基本としているが、できないときは近日中に時間を設けるか、紙面上で確認を取るようにしている。	プログラム実施後に職員全体で振り返りのミーティングを行っています。話し合う時間は確保するよう努めていますが、訪問時間等でその日の内にはできないこともあります。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	6 (100%)	0 (0%)	事前に訪問先の責任者や担当者と協議の場を持ち、先方の意向を聴き、必要事項を確認するようにしている。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	6 (100%)	0 (0%)	個人情報を尊重し、許可の範囲内で写真や動画を活用し、報告と振り返りの一助にしている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6 (100%)	0 (0%)	状況や必要に応じて、計画を変更、修正することもある。	
関係機関や保護者との連	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6 (100%)	0 (0%)	視覚的に具体的に本人のことを理解してもらうために、アセスメント結果を提供したり、動画や画像を使って視覚的に報告したりするようにしている。支援グッズを持参して見てもらう。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5 (83.3%)	1 (16.7%)	学校や相談支援事業などの訪問も受け入れている。/本人にとって必要なコミュニケーション支援グッズを共有できるようアプローチしたり、情報提供したりするようにしている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6 (100%)	0 (0%)	必要に応じ連絡を取っている。/就学先での情報を具体的に聴取し、本人に必要なソーシャルインフォメーションを提供したり、必要に応じて学校には前日に入学式に向けての情報を本人に提供してもらう。 保護者と共に学校への引継ぎを行うようにする。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6 (100%)	0 (0%)	多くの研修を受ける機会が設けられている。/積極的に研修には出向いているが、専門機関や専門家からの助言を受ける機会も作ってきたい。	

携	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5 (83.3%)	1 (16.7%)		療育に差し支えない範囲で参加しています。毎回参加はできていないため、勤務調整に努めています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6 (100%)	0 (0%)	困りごとだけではなく、子どもが輝いていたこと、楽しんでいたことなども積極的に画像や文書で伝えあうように取り組んでいる。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5 (83.3%)	1 (16.7%)	タイムリーに家族支援(対面、居宅、オンライン)を利用してもらうように努めている。	訪問事業単体では研修等は行っておりません。気軽にスマホなどでも視聴できる講演や講座、具体的に読みやすい共感できるような書籍などを、保護者のニーズに合わせて紹介するよう努めています。
保 護 者 等 へ の 説 明 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6 (100%)	0 (0%)	児発言より、個別に説明を実施している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6 (100%)	0 (0%)	事前に施設管理者に、文書で依頼書と説明書を送り、その後窓口担当者等を含めて説明をしに行く。次年度からは、継続依頼書を提出している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6 (100%)	0 (0%)	子どものタイプによって方法は違うが、個々に訪問の許可を視覚的に取るようにしている。実際に訪問するときは、本人に事前にお知らせを視覚的に伝えている。訪問後は保護者、本人と個々に振り返りを行っている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6 (100%)	0 (0%)	計画案を示して、保護者の意向を組み入れながら、完成させている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6 (100%)	0 (0%)	タイムリーに相談を受けられるように対応している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0 (0%)	6 (100%)	父母の会はないので、必要に応じて地域の親の会を紹介したり、希望により保護者同士の話し合いを設定する中で、交流されたりしている保護者もおられる。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6 (100%)	0 (0%)	できていないこともあるが、できる限りの努力はしている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3 (50%)	3 (50%)	訪問事業単体では行っていない。/全体向けの情報提供はできていないが、個々に必要な情報提供はできるだけタイムリーにするようにしている。	ホームページのブログ等で、事業所についての発信に努めています。事業所内の掲示物などに関しては訪問のみご契約されている方にはなかなか発信しきれっていないのが現状です。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6 (100%)	0 (0%)	研修などで、紹介したいときは本院、家族に視覚的に許可をお願いするようにしている。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6 (100%)	0 (0%)	視覚的支援を用いている。/本人が理解できる形でやり取りや情報伝達をし、本人の意思を尊重している。保護者に関しても基本大切なことは視覚的に伝え、視覚的に返してもらうようにしている。	
37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6 (100%)	0 (0%)	学校等は電話対応の時間帯が難しいことがあるので、学校と相談の上、メールでのやり取りを優先して、活用するようにしている。		

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6 (100%)	0 (0%)	実施後毎回行っている。/タイムリーに別設定の時間をとってもらうのが困難な場合は中間休みや、放課後を利用することがある。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6 (100%)	0 (0%)	タイムリーな報告が必要な時は、終了後に即電話で報告をするようにしている。許可が得られた時は、本人の様子を録画して見せてもらって説明することもある。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6 (100%)	0 (0%)		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6 (100%)	0 (0%)	相談内容によっては、保護者と相談し、許可を得て訪問することもある。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5 (83.3%)	1 (16.7%)	どちらともいえない 訪問事業単体では行っていない。	非常時に対応できるよう、各種マニュアルを策定し、スタッフや保護者がいつでも確認できる場所に設置しています。また、月1回、防災訓練等を行っています。情勢に応じてマニュアルを改善していけるようスタッフ間で情報等共有し、随時周知していくよう努めます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5 (83.3%)	1 (16.7%)	どちらともいえない 訪問単体では行っていない。	毎月の会議の中で安全管理についての確認と、緊急時の対応確認や避難訓練を行っている。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6 (100%)	0 (0%)		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6 (100%)	0 (0%)		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5 (83.3%)	1 (16.7%)	どちらともいえない 訪問事業の中では直接こどもに対応していないため。	契約時にご説明し署名捺印をいただき了解を得ている。また、年間行事の中で社内全体で虐待研修を受ける機会を設けている。